

令和7年度 第2回 学校運営協議会

日時:令和7年5月26日(月)

13:30~15:30

場所:北浜東小学校 2階 特別室

次 第

進 行:菅沼 秀明

5校時の授業は、14:20まで行われます。御自由に御覧ください。14:30から熟議に入りますので、それまでに特別室にお戻りください。

授業参観の視点

- ・子供は、自分の考えを持ち、相手に伝えようとしているか。
- ・子供は、相手が言おうとしていることを理解しようとしたり、受け入れようとしたりしているか。

1 開会

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 議長選出

5 会議録の確認

6 熟議

- ・今年度の自己目標
- ・授業から見える子供の実態(参観の視点をもとに)
- ・支援策の具体化

7 事務連絡

☆学校支援コーディネーター募集中

☆次回開催予定について

12月15日(月) 14:00~

- ・第2回参観会

9月19日(金) 13:50~

- ・運動会

11月8日(土) 午前中

- ・150周年記念コンサート

11月14日(金) 午後

- ・地域ふれあい活動

12月5日(金) 1~3年③④(午前) 4~6年⑤⑥(午後)

8 閉会

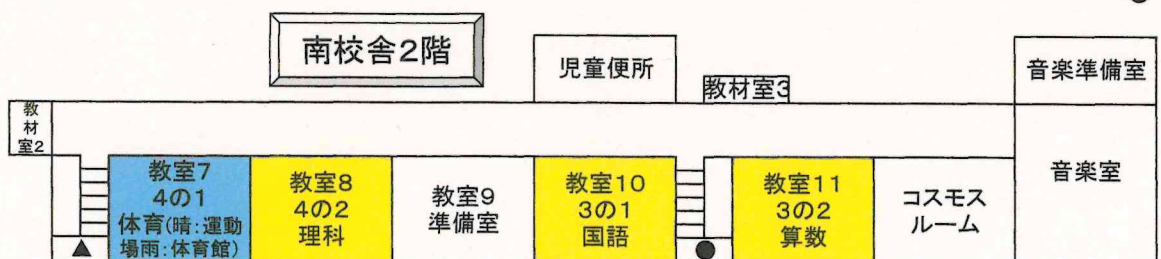
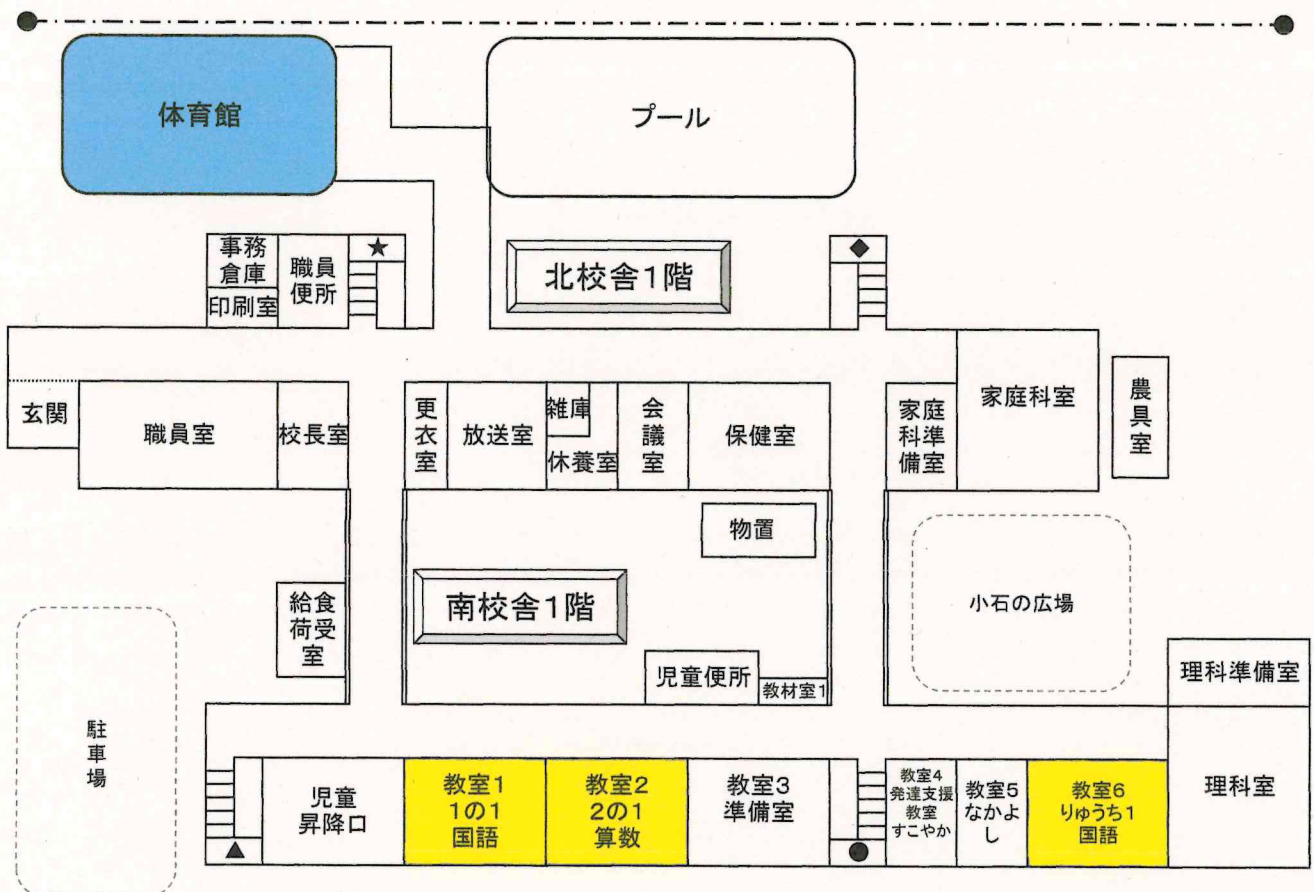


5月26日（月）5校時授業内容、活動場所

学級名	教科	単元名	活動場所	指導者
1年1組	国語	ねことねっこ	教室	
2年1組	算数	ひき算	教室	
3年1組	国語	こまを楽しむ	教室	
3年2組	算数	たし算とひき算	教室	
4年1組	体育	ティーボール	晴:運動場 雨:体育館	
4年2組	理科	電池の働き	教室	
5年1組	社会	気候に応じた暮らし	教室	
6年1組	算数	分数のかけ算	教室	
6年2組	家庭科	できることを増やしてクッキング	教室	
りゅうち	国語	個別学習	教室	



浜松市立北浜東小学校 R7. 5. 26 5校時



熟議1 授業から見える子供の姿

(○よいところ △気になるところ ☆改善案)メモを取りながら授業を御覧ください
感想

視点1 子供は、自分の考えを持ち、相手に伝えようとしているか。

視点2 子供は、相手が言おうとしていることを理解しようとしたり、受け入れようとしたりしているか。

令和7年度 第1回 北浜東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月24日（木）14時00分から16時10分まで
- 2 開催場所 北浜東小学校 特別室
- 3 出席委員 倉橋 芳久、本間 規子、生熊 義憲、今田 栄之助、
久保田 静香、神谷 智里、羽柴 ちひろ
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 松野 聖（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 中島 利美（校長）、佐野 教代（教頭）、
菅沼 秀明（CS担当教員）、入手 佑香（CSディレクター）

- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 入手 佑香（CSディレクター）

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、倉橋委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された倉橋委員から、生熊委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、倉橋会長が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）令和7年度の学校運営の基本方針について
- （2）いじめ防止基本方針に関することについて
- （3）「夢育やらまいか」事業の意見書について

12 会議記録

司会の菅沼から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和7年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 第4次浜松市教育総合計画にある「すべての人々のウェルビーイング」の向上とは何か。（今田委員）
- ・ 子供たち一人ひとりと社会全体が、現在から将来にわたって「心身ともに健康で、持続的に幸福な状態」で充実している状態を表している。（校長）
- ・ 「徳」の部分の取組では、心の日の設定「SGE・SST」とあるがどういった意味なのか。また、具体的にどのような取組をしているのか。（倉橋委員）
- ・ SGEは「構成的グループエンカウンター」また、SSTは「ソーシャルスキルトレーニング」を略して呼んでいる。（校長）

- ・ 「構成的グループエンカウンター」は、人間関係作りを目的に、友達との触れ合い体験を通して、他者理解・自己理解を深めるトレーニングのような活動となる。また「ソーシャルスキルトレーニング」は、社会で人と人とが関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身に付ける活動となる。(校長)
- ・ 4月の活動では、「友達をいっぱい作ろう」をテーマに低学年は、歌に合わせて友達と握手をしたり、高学年は「いろいろじゃんけん」を行ったりした。ゲーム感覚で楽しみながら人間関係をより豊かにしていく取組を月1回実施している。また、対人関係をスムーズにするための活動の時間を設けることが子供たちの成長に繋がると考えている。(校長)
- ・ 自分は子供の頃から、人と手を繋ぐことが苦手だった。子供たちの中にも同じような思いをしている子供がいるのではないかと。(生熊委員)
- ・ 現在の6年生は、入学して早々に新型コロナウイルス感染症が流行し、授業や行事が中止・制限される中、マスクを着用して人と人との間に距離を空けるなど生活のルールが変わった。人と触れ合うことに関して警戒心があるのはやむを得ないと感じる。(久保田委員)
- ・ マスクを着用していると顔の大半が覆われ、感情の変化や意思疎通がうまく伝わらない。そのため、人との距離感が分からない子供が増えている印象がある。
(久保田委員)
- ・ 日常的にマスクを着用する生活が続く、表情が見えないことで子供たちの発達にどのように影響するのかとても心配だった。(本間委員)
- ・ 友達に自分が苦手なところも見せることで、個々の違いを認め、受け入れてもらうことが大切と感じた。(本間委員)
- ・ スクールガードをしていた時、上級生の子供たちに「おはよう」と挨拶をしても、返事がなく、下を向いている子が多かったと感じた。(今田委員)
- ・ 自分たちの時代とは違い、子供たち同士が自然に人間関係を築いていくことが難しくなっている。子供たちが互いを知ることができる場を意図的に設ける必要があることに寂しさを感じる。(生熊委員)
- ・ 子供がプリント問題を解いた時に、先生に褒めてもらってことを何度も話してくれた。褒めてもらったことが自信になり、「まずはやってみよう」と意欲的に学習している。自己肯定感が上がったと実感している。(神谷委員)
- ・ コミュニケーションの方法は、握手ばかりでなく、グータッチやピースなどいろいろな方法を選択できるようにしている。(校長)

(2) いじめ防止基本方針に関することについて

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき、いじめ防止基本方針について説明があり、以下の発言があった。

- ・ いじめアンケートを通して、子供と嫌だったことや、悩みについて話す良い機会になり、いじめになる前に気付くことができる。(久保田委員)
- ・ ふざけ合いのような些細な出来事でも学校が丁寧に対応してくれた。いじめを未然に防ぐ対策をしてくれていることが保護者としてとても安心感があった。

(羽柴委員)

- ・ 昔は強い者が弱い者に対していじめていたことをいじめと言っていた。いじめは学校に限らず社会人でもあり得る。(久保田委員)
- ・ 自分が子供の頃にもいじめはあったが、フォローしてくれる人がいた。今の時代は、いじめの告げ口や仲裁をしたことで、今度は自分がいじめの対象にされる心配があり、いじめを見ても見て見ぬふりをしてしまうのではないかな。
(生熊委員)
- ・ 最近、SNSやネットでの誹謗中傷など、先生が目が届かないところで陰湿ないじめが起きている。(今田委員)
- ・ いじめを受けている児童からするとアンケートに書いたことでさらにいじめられることを心配して、正直に書けない場合もある。(倉橋委員)

(3)「夢育やらまいか」事業の意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、地域ふれあい活動や学校運営に資する活動を行うための経費として有効活用する説明があった。委員から、以下の発言があった。

- ・ 一昨年には、出前講座で職業体験が行われていたが、今年度は予定しているのか。職業や仕事について体験したり、働く人々と接したりする機会がとても良かった。(久保田委員)
- ・ 出前講座は抽選となっている。6年生の総合的な学習の時間では、「夢」をテーマとして、職業について子供たちの興味関心から毎年、職業講座を実施している。
(教務主任)
- ・ 昨年度は、お箸について長けている方に職業講話をしていただき、とても好評だった。子供たちに仕事のやりがい・体験などの話をしてくれる方をご存知の方はぜひ学校に繋げてもらいたい。(教頭)
- ・ 地域には、知られていない有能な人材がたくさんいると思う。地域の方が目にする回覧板を活用して、募集をしてはどうか。(倉橋委員)

その他報告事項等

司会から、第2回学校運営協議会は、5月26日(月)午後1時30分から特別室で開催する旨の報告があった。

(様式1)

学校番号 (小071)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(北浜東小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

物事に積極的に挑戦する中で他者(友達や地域の人など)と関わり、さらに自己表現ができる子に育つよう学校運営協議会としてできることを探る。

- ・自己肯定感を高める取り組みの実施
- ・他者を思いやる心の育成

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

(様式1)

令和7年5月27日

浜松市立北浜東小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 久保田静香 様

浜松市立北浜東小学校運営協議会
会長 倉橋 芳久

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和7年4月24日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 子供たちが地域のよさにふれ、愛着や誇りを持つことができるようにするために、地域の人材を活用して交流の場を設けるべきである。
⇒学校を会場として、低学年は「昔遊び」、高学年は「しめ縄づくり」を「地域ふれあい活動」として行う。これにより、地域の人とのつながりをつくったり、伝統として続いてきたしめ縄づくりを継承したりすることができる。
- ② 自分の思いや考えを相手に伝わるように表現できる子を育てるためには、自己肯定感を高めたり、他者を思いやる心を育てたりするべきである。これには、豊かな体験活動や多くの人との関わりが必要である。
⇒出前授業や体験活動を意図的に組むことで、いろいろな人と関わったり、それぞれの生き方を知ったりすることができる。

熟議2 支援策の具体化

★12月5日（金）地域ふれあい活動 低学年：昔の遊び 高学年：しめ縄づくり

★各種支援

1年	何月ごろ	どんなボランティアを必要としているか	希望人数
生活	10月	公園に夏見つけ、秋見つけに行く時のサポート	1～3人
2年			
生活	5, 6月ごろ	町探検のサポート	1～3人
生活	9月	おもちゃづくりのサポート	6人
生活	12月	いもほり、いもパーティーのサポート	8人
3年			
国語（書写）	12月	書き初めの指導や準備片付けのサポート	1～3人
総合	未定	調査先に出向き時の付き添いサポート	グループ数による
図工		くぎ打ちをするときの見守り	1～3人
4年			
図工	6月	のこぎりの使用やくぎ打ちのサポート	6人程度
総合	2学期	お年寄りや障がいのある方と交流	なるべくたくさん
5年			
家庭科	6月	手縫い学習のフォロー	4人程度
家庭科	2学期	ミシン縫いや調理実習のフォロー	なるべくたくさん
6年			
家庭科	6, 11月	調理実習の指導やフォロー	6人程度
家庭科	9, 10月	ミシンの使い方の指導やフォロー	6人程度
生き方	通年	いろいろな職業の方から生き方（職業や趣味）に関する話や実演	可能な範囲で

全校共通

どんなこと	何月ごろ	どんなボランティアをしてほしいか	希望人数
読み聞かせ	月2回	朝、各クラスに入り、読み聞かせ	何人でも
図書室環境整備	月1回	図書室の環境整備	何人でも
遊び、見守り	木曜日の昼休み	一緒に遊んだり、話を聞いたり	何人でも
草取り	月1回程度	校庭の草取りを手伝ってほしい	何人でも
挨拶	できるとき	それぞれの家庭の近くで子どもへの挨拶	何人でも
見守り	できるとき	子供の登下校時に家庭の近くで子どもの安全を見守る	何人でも
託児	懇談会開催時	懇談会があるときに1～3年生の見守り	何人でも
花壇の整備	月1回程度	花壇の整備	何人でも

子供たちの健やかな成長のためにできそうなこと

教科	何月ごろ	どんなボランティアをしてほしいか	希望人数